

様式第2号

平成23年度 安曇野市地域包括支援センター運営協議会(第2回) 会議概要

1	審議会名	第2回安曇野市地域包括支援センター運営協議会		
2	日時	平成23年11月16日(水) 午後1時から午後2時15分まで		
3	会場	穂高健康支援センター 計測室		
4	出席者	宮澤会長、細川委員、越原委員、高橋委員、宮下委員、岩原委員、唐澤委員 松嶋委員、山田委員、奥永委員、樋口委員 (欠席) 勝山副会長、中村委員、田中委員、上條委員		
5	市側出席者	等々力高齢者介護課長、曾根原高齢者福祉係長、等々力介護保険係長、 宮下介護予防係長、市地域包括支援センター(藤沢保健師、岩原社会福祉士)、 東部地域包括支援センター(松澤主任介護支援専門員、細沼社会福祉士)、南部地 域包括支援センター(岡村社会福祉士)		
6	公開・非公開の別	公開		
7	傍聴人	0人	記者	0人
8	会議概要作成年月日	平成23年11月 日		

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
 - (1) 平成23年度地域包括支援センター事業中間報告及び後期計画
 - (2) 平成23年度介護予防ケアマネジメント事業所委託先の追加承認について
- 4 その他
- 5 閉 会

2 審議概要

- (1) 平成23年度地域包括支援センター事業中間報告及び後期計画
- (2) 平成23年度介護予防ケアマネジメント事業所委託先の追加承認について
平成23年度地域包括支援センター事業中間報告及び後期計画を報告。また、平成23年度介護
予防ケアマネジメント事業所委託先として新たに7事業所の追加承認を提案。

(質疑応答)

委 員：相談件数について年度の比較があるが、これは年間のものか。

事務局：中間報告に合わせ22年度23年度いずれも上半期のものとして掲載。

委 員：成年後見制度について、報道で後見人とのトラブルが多発しているとの話だが、市で
わかることはあるか。

事務局：把握しているものはない。

委 員：裁判所等からの話で、親族が後見人をした場合に使い込む等の問題があるよう。長野では
あまりないが、全国的に問題となっているのは圧倒的に親族後見の場合である。

委 員：二次予防事業は特定健診受診者が対象だが、人間ドック受診者には何かあるか。

事務局：特定健診受診者から対象者を抽出しているが、毎年同じ方が受ける偏り等あり、方法を見直
す予定。65歳以上全てを対象とするのは非常に多く、これまでも70代の教室参加者が最も
参加が多いこと、予防という観点から効果が出やすいことを踏まえ、対象の年代を設定し
た。その年代全員に通知し、チェックリストの結果から教室参加希望者を抽出する。

委 員：身内も二次予防事業でお世話になったが、人間ドックを受けるようになってから知らせが
ない。今後、人間ドック受診者にもぜひ配慮いただきたい。

委員：成年後見について、初歩的な相談から具体的な相談までどの程度あるか。

事務局：成年後見自体を知らない方からの相談が多いが、書類準備や身寄りがない方の支援等、後見人就任に向けた手続きも行っている。

委員：最後まで手続きを行ったり、裁判所まで行くケースはどの程度あるか。

事務局：昨年度2件、裁判所まで同行・支援している。

委員：困難事例について具体的に提示を。

事務局：介護保険サービスの必要性があるものの、ご本人が拒否をされているケースである。

ご本人の思いや今までの生活等の要因から介護や福祉を拒否し、その間にも生活状況が悪化していく等、いかに介入・支援するかが難しいものが含まれている。

委員：相談件数について、65歳から74歳、75歳以降等、年齢にわけて比較するのはどうか。

事務局：介護認定同様、高年齢の相談が膨らんでいるように思われる。

委員：老人クラブでも80代前半の変化が殊に目立つように感じる。これが相談件数にも反映されていると思う。ぜひ検討を。

事務局：検討する。

会長：議題1.2について承認願いたい。(承認を得る)